

# 日本共産党 松戸市議団ニュース

2023年6月9日

日本共産党松戸市議会議員団

<連絡先>松戸市役所控室

電話 : (366)7403

FAX : (366)5915

e-mail: jcpmatsudo@earth.ocn.ne.jp

## 6月定例会が始まります。

6月9日より6月議会が始まります。会期は27日まで、各議員の一般質問順番も決まりました。先の臨時議会で「新庁舎用地としての国有地購入」が否決されたことに対し、多くの議員から質問が出る見込みです。今議会から一般質問が40分となり、これまでよりも少し長く皆さんの声を届けることができるようになります。

コロナ対策や道路の安全対策、教員不足の解消、福祉やコミュニティバス、タクシー代補助など、日本共産党市議団は、市民の願い実現に力をつくしてがんばります。

お忙しい時期とは思いますが、下記に掲載の日程をごらんいただき、傍聴にお越しくくださいますようお願いいたします。

6月8日 日本共産党松戸市議団

### 6月13日(火)4番目 ミール計恵

#### 1, 交通安全対策について

陣ヶ前公園に接する市道の安全対策について

#### 2, 公園整備について

(1) 公園整備のガイドラインの進捗について

(2) 生産緑地を公園にする場合の課題は

#### 3, 松戸市の都市計画について

(1) 都市計画審議会で「市街化調整区域の検討」が行われているが、その中で「矢切耕地の保全整備計画」は位置づけられているか

#### 4, 市庁舎建替について

(2) 都市計画審議会の政策決定の過程について

#### 5, 生活支援課の相談室への防犯カメラ設置について

カメラの運用方法について

### 6月14日(水)8番目 嶋村新一

#### 1, 教職員の未配置問題改善について

(1) 昨年度の状況と今年度の現状について  
(2) 児童生徒と教職員への影響について  
(3) 部活動への影響について  
(4) 未配置問題について昨年度までの対策と今年度の対策について

#### 2, 会計年度任用職員の処遇改善を

(1) 会計年度任用職員の配置状況について  
(2) 制度開始から4年、課題と改善点について

#### 3, 地域福祉の改善に向けた取り組みについて

(1) 地域福祉の現状と課題について  
(2) 地域福祉ボランティアの活動の現状と課題について

### 6月14日(水)9番目 山口正子

#### 1, 新型コロナウイルス感染症「第5類」移行後の課題と対策について

(1) 市内の感染状況の把握と公表は  
(2) 入院病床の確保と利用状況、人員配置はまた病床確保と休止病床への財政支援は  
(3) 発熱患者への市内医療機関での対応状況はまた検査と医療費用の負担について  
(4) 市独自の検査補助の継続は  
(5) 第9波に向けた体制をどう考えるか  
(6) 市独自の保健所設置の必要性について

#### 2, 障がい児放課後支援の充実を

(1) 障がい児の放課後児童クラブ入所の課題は  
(2) 放課後デイサービスでの療育支援について  
(3) 放課後デイサービス利用料金の所得段階を細分化する考えは

#### 3, 高齢者の外出支援の充実について

バスやタクシー料金補助をつくる考えは

### 今後の議会日程

日程	会議予定(いずれも10時～)
6月9日	本会議(議案提案)
12～16日	本会議(一般質問)
20日	総務財務常任委員会
22日	教育環境常任委員会
23日	建設経済常任委員会
27日	本会議(最終日)

臨時議会での国有地取得議案否決について、受け止めと今後の対応は

#### 4, 交通政策について

(1) コミュニティバスの課題と対策について  
ア、中和倉コースの課題と対策について  
イ、新たな地域への導入の進捗と課題について  
(2) 市民センター前および八ヶ崎消防署前の道路への横断歩道設置と、横須賀小通学路に歩道と横断歩道設置の必要性について

### 6月15日(木)6番目 宇津野史行

#### 1, 学校給食無償化の拡大について

完全無償化に向け、対象の拡大をどう考えるか

#### 2, 放課後児童クラブの充実について

放課後児童クラブの質及び量の確保について

#### 3, 障がい者の介護保険移行について

65歳以上の障がい者の介護保険への移行について

#### 4, 東松戸病院・梨香苑について

東部地区の医療確保の見通しと方策について

#### 5, 新拠点ゾーンおよび新庁舎整備について

天候不順が続いています。体調管理は万全に、ぜひ傍聴においで下さい。

# 市庁舎移転建替えの市当局提案、 反対30で議会が否決！

臨時市議会が5月24日から26日、開催されました。議案は、第1号「競輪場前跨線人道橋補修工事費の契約変更（工事費減額）」、第2号「松戸市市税条例の一部を改正する条例の制定」、第3号「令和5年度松戸市一般会計補正予算（第1回）」、第4号「財産の取得について」の4本が提案されました。

第1号から第3号議案は可決。第4号議案は賛成13名、反対30名で否決されました。

第4号は、市役所用地として未利用国有地を取得し、施設の老朽化が著しく耐震性も災害拠点として問題のある市役所を再整備することにより、利用者や職員の安全を確保し、災害時には隣接する公園などの周辺施設として連携し相乗的に補完し合う災害対応拠点として、活用するため8,745㎡の国有地を30億2,000万円で購入するという議案です。

26日、本会議の討論・採決の前に24日に「市庁舎整備に関する特別委員会」（以下、特別委員会）が開催され、その委員会でも委員長除く10名の委員のうち、賛成は3名、第4号議案は否決されていました。26日本会議には、30人余りの傍聴者のなか、議案4号に賛成の立場で2名、反対の立場で6名の議員が討論に立ちました。

日本共産党のミール計恵議員は会派を代表して、未利用地の国有地を市役所として購入する本議案を承認することは移転建替えに賛成することとして以下の4点で反対の討論を展開しました。

①手続きが「移転ありきの進め方」で強引すぎます。一端は「市庁舎の建替えは移転か現地か、ゼロベース」と言いながら、その後の進め方は新拠点ゾーン南側へ移転することを前提で進められています。未利用の国有地も以前は「街づくり用地」という提案でしたが、「市役所用地」に変更されました。外堀を埋めつつ、新拠点ゾーンの開発と一体化させる進め方には疑問を感じます。

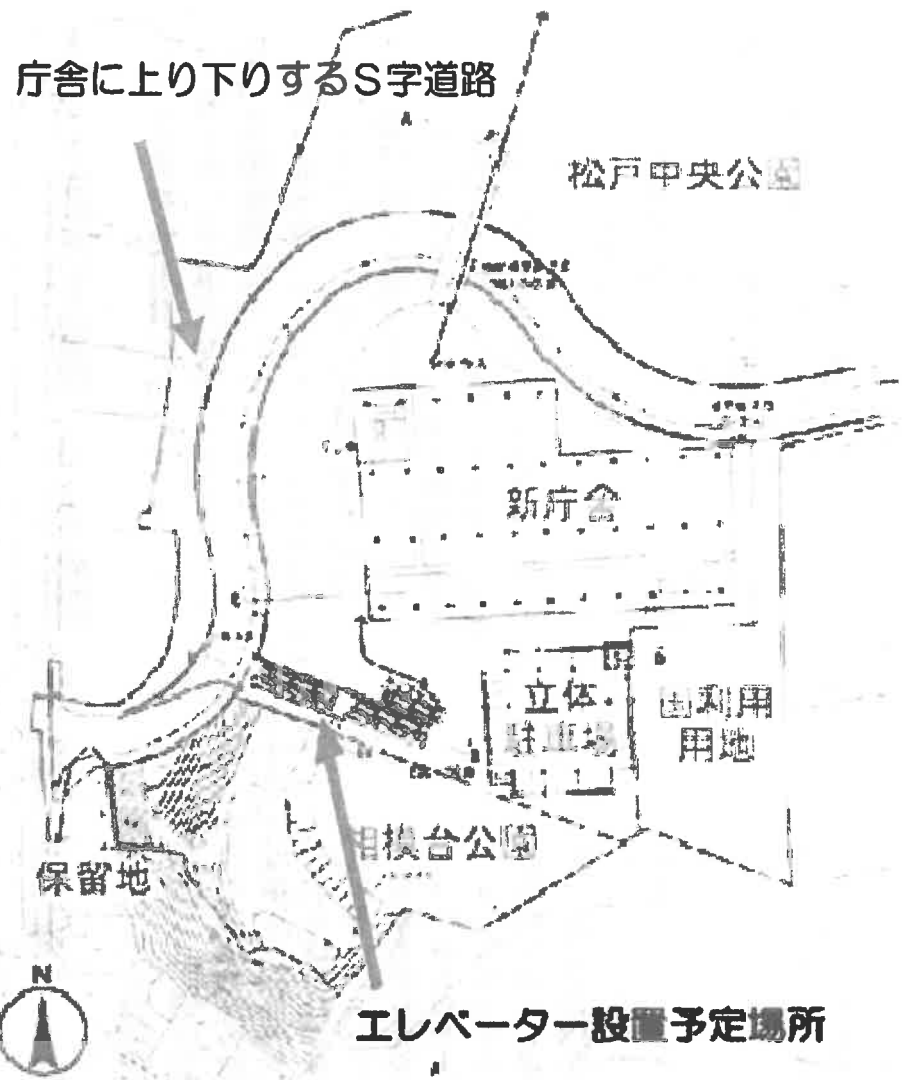
②市民への説明が全く不十分です。

市民にはほとんど知らされず、5月12日に公表された「市役所機能再編整備基本構想」も4章から7章への大幅の改定なのに、公表の前に説明されたのは、相模台地区など周辺57団体などの役員だけです。私は以前から、広報まつどでの周知や市全体を視野に入れた市民への説明会の開催などを求めてきました。

③候補者敷地があまりにも狭いことです。

用地取得は8,745㎡ですが、平場で使用できる面積は5,230㎡しかなく、現在市庁舎の約1/3の狭さ。そこに立体駐車場の建設もします。また、高さも20m、出入り口が1カ所しかなく、バスもすれちがうことができない道路幅、市の調査では候補地周辺の交通量も1.6倍に増える予想です。さらに児童生徒数が市内最大規模の第一中、相模台小もあり交通安全面での懸念

## 新拠点ゾーン南側 市庁舎移転予定候補地



があります。加えて、土砂災害特別警戒区域に県から指定されており、その上に市庁舎建設することに非常に疑問を持ちます。

④新拠点ゾーン南側への市役所移転が松戸駅周辺の活性化につながるとは現時点では言えないことです。

市は活性化の具体的な策が示されないばかりではなく、今まで何度も「活性化」と言いながら、その検証を行ったことがありません。松戸駅周辺の活性化を進めるためにもまず、松戸駅東口の狭隘道路、狭いロータリーやバス停が遠いなどの課題を解決すべきです。

以上、4つの角度から問題を指摘しました。

最後に「市役所機能再編整備基本構想」についても問題を3点指摘。①出し方の拙速さ、②窓口削減・支所への機能移転やテレワーク20%実現などの不透明さによる市民サービスの低下の懸念、③専門家に諮問した「庁舎整備検討委員会」答申の議会棟・別館の活用が基本構想に入れてないこと。これらの点からも専門家委員、市民、議会を軽視していると言わざるを得ません。

私たち会派としては、いつ起きるかはわからない大地震に備え、一日も早く建て替えを進めるため、土地取得も基盤整備も不要の現地建て替えの計画を進めることを改めて求めます。